

「応援団」ぞくぞく誕生

認知症サポーター養成講座



グループホームを訪問し、高齢者と交流する新得小学校児童

認知症という病気や、認知症の方について正しく理解し、優しく接する気持ちを持ってもらう「認知症サポーター養成講座」が小学生を対象に開かれました。

1月27～31日には、新得小学校の6年生37人を対象に「キッズサポーター養成講座」として、全4回の講座を実施。毎年、福祉に関する授業時間を設け、この講座を開いています。町保健福祉課職員をはじめとした、同講座の講師の資格を持つ「認知症キヤラバン・メイト」が、「認知症」や「新得町での高齢者に対するサービス」などについて講義を行い、その後児童は実際にグループホームでお年寄りとおふれ合いました。

子どもたちはかるたやトランプ、折り紙など、自分たちでゲームを持



オレソジリングを手にする新得中学校生徒

ち寄り、6班に分かれて交流。終始お年寄りに積極的に話しかけ、お年寄りも交流を楽しんでいました。同29日には、新得中3年生37人を対象に「サポーター養成講座」が開かれました。福祉施設が目前にあり、高齢者と接する機会も多い環境にある同校生徒たちに理解を深めてもらうと、キヤラバン・メイトであるやすらぎ荘の職員が毎年中学校へ行き、講義を行っています。

講義やグループワークを通して、生徒からは「将来、85歳以上の4人に1人が認知症になると聞いて驚いた」や「お年寄りに優しくしたい」などの意見が出されました。終了後、両校の児童生徒には、認知症サポーターの証である「オレソジリング」が渡されました。

ボイスー町の声ー

※昨年12月以降にまちづくりレターでいただいたご意見などを掲載しています



●町内河川の堤防、道路の危険箇所について

- 国道38号線新栄橋の佐幌川左岸の堤防に、川に転落する危険のある場所があります。
- 町道佐幌1号線（新得温泉の前を通る道路）を清水町方向に向かい上佐幌基線にぶつかる交差点には、24区公民館もあり、見通しが悪く危険です。（80歳代・男性）

お答えします

○現地を確認しました。ご意見をいただいたように危険な箇所だと感じます。この川を管理している北海道の帯広建設管理部鹿追出張所に改善を要請しました。

○道路面の太い点線ライン（ドット線）が薄くなっていたので、



見通しが悪いというご意見をいただいた交差点。直進屈足方面、左折で上佐幌方面、右折すると清水町方面へ。

今年の春にラインの引き直しをします。交差点にはカーブミラーも設置しており、最低限の安全対策は行っております。見通しが悪く多少見づらいかと思いますが、ドット線の手前で十分な安全確認をして、通行していただきますようお願いいたします。（施設課技術係）

広報モニターからの声

広報モニターさんから「広報しんとく1月号」を読んだ感想・ご意見をいただきましたので、その内容をお知らせします。

▼「新春座談会」は、新得高校生徒会役員のみなさんと、先輩である浜田町長とそばの町新得の重鎮今井さんをお招きしての座談会は、とてもよい企画だと思います。司会の今井さんが、ざ

つくばらんな雰囲気づくりをしてくださっていて、高校生も話しやすかったと思います。

9ページにもわたる大特集で、ちょっと長いような気もしましたが、今の地元の高校生が何を考えどう思っているか、一端を知ることができました。中学生にも、全文をぜひ読んでもらいたいですね。魅力ある新得高校のPRになったらいいなと願っています。（私も楽しかった高校時代をふと思い出しました。）

▼毎年1月号は、新成人のみなさんのカラー写真で表紙を飾るのを楽しみにしています。Vの字（逆三角形）の並び方はインパクトありますね。（全員で撮影できたら、さらによかったですね）

息切らし懸命なレース

全道クロスカントリースキー新得大会 兼十勝クロカンスキー屈足大会



第64回全道クロスカントリースキー新得大会兼第33回十勝クロスカントリースキー屈足大会（十勝スキー連盟・新得スキー連盟主催）が2月2日、サホロリバーサイドクロスカントリースキーコースで開かれました。男女、年代別に1・7キロから15キロまでの17クラスに55人が出場し、自己ベストの更新を目指して懸命な滑りを見せて



いました。成績は次のとおりです。（学年別1位のみ・新得関係分・敬称略）
「男子」▼1・7キロ◇小学2年◇渡辺陸玖（屈足南）10分22秒、▼2・5キロ◇同3年◇鳥井清登（屈足南）15分57秒、◇同4年◇田中翔和（屈足南）17分28秒、▼3・4キロ◇同5年◇渡辺海翔（屈足南）16分07秒、◇同6年◇田中遥輝（屈足南）19分41秒、▼5キロ◇中学1年◇田中風太（屈足）23分12秒、◇同3年◇小林広輝（屈足）31分35秒
「女子」▼2・5キロ◇小学3年◇黒結愛那（屈足南）16分53秒、▼3・4キロ◇同6年◇安久津朱梨（屈足南）20分27秒

▼「成人式に都合で出席できなかった町内在住または町内出身者（実家が新得）」については、お名前だけでも掲載してはいかがでしょうか。」と書いた昨年1月号のモニターを覚えていてくださったのがうれしかったです。指名の掲載は希望者のみの配慮もよいと思います。

▼「ふるさとの顔」の坂野昇さん。波乱万丈な人生を歩かれてきた坂野さんですが、今では一番の生きがいとおっしゃる「アハハの会」のネーミングのように、日々を明るく楽しく過ごされている様子にほっとしました。苦勞を共にしていらした奥様といつまでも仲良く、あはは！と笑って長生きをしていただきたいです。

▼「クローズアップ」の伊東琢美さん。お店のオープンを楽しみにしていた町民の一人です。夢を叶えたばかりの旬なお店・ご夫婦取材してください、ありがとうございます。ぜひ新得の夜景の見られる冬の間に足を運びたいものです。

▼「町長室からこんにちは」では、新年号にふさわしい明るい話題が目白押し、と思ったら町長さんの初夢でした。2016年の日本そば博覧会に立候補しているそうで、一つでも多く正夢になりますようお願いしています。